

公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

研修報告書 (2021年度 助成者)

作成日 2021年 9月 2日

氏名 (フリガナ)	照沼 友里 (テルヌマ ユリ)
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2021年8月17日 (火) ~ 8月21日 (土) オンライン (Zoom)
大学名 学年	筑波大学6年

この度、医学部夏季集中医学英語研修プログラムに参加させていただきました、筑波大学6年の照沼友里と申します。公益財団法人日米医学医療交流財団をはじめ、Hawaii Tokai International Collegeのスタッフ、ハワイ大学医学部の学生、指導をしていただいたハワイと日本の先生方、たくさんの方々のご厚意とサポートにより、大変実りのある一週間を過ごすことができました。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。

この一週間は盛りだくさんの内容であり、私の期待を大いに上回りました。短い期間であったにもかかわらず、たくさんのインタラクティブなアクティビティを通して、問診、臨床推論、症例プレゼンテーションの一連を全て英語でしっかり学ぶことができました。アメリカで活躍されている先生方にも日本で活躍されている先生方にもしっかりフィードバックをいただけたおかげで、これらのスキルを磨くことができました。また、アメリカで実際に働かされている先生方の講義を聞くことができ、将来はアメリカで働きたいと思っている私にとって大変参考になりました。アメリカで臨床医として働くためには長い道のりであり、私もまだ準備の途中ですが、先生方のお話はとても刺激になり、努力を続けるモチベーションとなりました。そして何よりも、このプログラムを通して同じ志を持った仲間と繋がることができたことが何よりも財産です。今回のプログラムに参加されていた学生は皆大変熱心であり、失敗を恐れずに自分の考えや意見を述べており、他の人の意見に対してもしっかり聞いていたのが印象的でした。自分の考えを言うのを躊躇してしまいがちな私にとっては新鮮な環境であり、自分の考えをしっかり聞いてもらえて受け入れてもらったことで、この一週間で意見を述べることに対する抵抗が自分でも驚くほどなくなりました。今回のプログラムはマッチング真ただ中での参加となりましたが、参加して良かったと心から思っております。今回学んだことを糧に、来年からは初期研修医として、そしてさらにその先も医師として、医学のサイエンス面についてもアート面についても、日々学び続けていこうと思います。

私は将来、アメリカで臨床医として終末期医療に携わりたいと考えております。それに向けて、臨床スキルを磨き、アメリカでの医学教育や研修についてより理解を深め、似たような目標を持った学生と交流することができたこの度のプログラムは、私にとって夢への大きな一歩となりました。改めて、このような機会を設けていただき、そして参加者の一人として選んでいただき、誠にありがとうございました。今後もより良い医師になることを目指し、日々精進してまいります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。